

令和 7 年度着手

県営 おおばらいけ 大原池 2 期 地区
緊急防災等工事計画書

(防 災 ダ ム 事 業)

愛 知 県

目 次

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地形、土壌及び浸食の程度	3
2.	土 地 分 類	4
3.	土地利用の状況	4
4.	土地所有の状況(略)	
第 3 節	水 利 状 況	5
1.	用 水 状 況	5
2.	排 水 状 況	7
3.	河 川 状 況	7
第 4 節	道 路 概 況	7

第 5 節	地域農業の概況	7
1.	産業別就業人口	7
2.	経営耕地広狭別農業経営体数	7
3.	主要家畜頭数	8
4.	主要作物作付状況	8
5.	農業の動向	9
第 6 節	地域環境の概況	10
第 4 章	一 般 計 画	11
第 1 節	事業計画の要旨	11
1.	要 旨	11
2.	事業別面積	11
第 2 節	営農計画及び土地利用計画	11
第 3 節	用 水 計 画	11
第 4 節	排 水 計 画	11
第 5 節	道 路 計 画	11
第 6 節	農用地造成計画	11
第 7 節	洪水調整計画	11
第 8 節	干 拓 計 画	11
第 9 節	農用地整備計画	11

第10節	老朽ため池改修計画	11
1.	洪水吐改修計画	11
2.	堤体補強計画	11
3.	取水施設改修計画	11
第 5 章	主 要 工 事 計 画	12
第1節	用 水 施 設	12
第2節	排 水 施 設	12
第3節	道路及び索道	12
第4節	農用地造成	12
第5節	洪水調整施設	12
第6節	干 拓 施 設	12
第7節	農用地整備施設	12
第8節	老朽ため池改修施設	12
1.	貯 水 池	12
2.	堤体補強施設	13
第 6 章	附 帯 工 事 計 画	13
第 7 章	工事の着手及び 完了の予定時期	13

第 8 章	環境との調和への配慮	14
第 9 章	換地計画の概要	14
第 10 章	事業費の総額及び内訳	14
第 11 章	効 用	15
第 12 章	関 連 す る 事 業	16
第 13 章	現況・計画平面図	16

第 1 章 目 的

大原池の位置する豊明市は東海地震防災対策強化地域及び南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されている。

本ため池は、地域農業の重要なかんがい用水源であるとともに、防災重点農業用ため池に指定され、農地33.2haに用水を供給する役割を担っている。

昭和45年度から昭和46年度にかけては、老朽ため池等整備事業で堤体、洪水吐及び取水施設を改修し、平成27年度から平成29年度にかけては、防災ダム事業で地震対策工事を実施しているが、平成30年度に豪雨耐性評価を行った結果、豪雨時における洪水吐の排水能力不足が確認された。

このため、豪雨対策を目的とした洪水吐の改修を実施することにより、ため池決壊による農地、農業用施設、人家等への被害を未然に防止することを目的とする。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第 1 表)

事 業 名	地 域
防 災 ダ ム 事 業	豊明市

第 2 節 地 積

(令和 6 年 8 月現在) (第 2 表)

事 業 名	現況地目	田	畑	原 野	山 林	その他	計	備 考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
防災ダム事業	豊明市	32.1	1.1	-	-	-	33.2	事業計画審査資料「受益面積 調書」より
	計	32.1	1.1	-	-	-	33.2	
合 計		32.1	1.1	-	-	-	33.2	

第 3 章 現 況

第 1 節 気 象

1. 一般気象

(令和 6 年 1 月現在) (第 3 表－1)

観 測 所 名	東海観測所、大府観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観 測 期 間	昭和51年～令和5年	4 月～ 9 月	10 月～ 3 月		
平 均 気 温 (℃)		22. 8	9. 9	16. 4	東海観測所 昭和51年1月～ 大府観測所 平成24年11月～
降 水 量	平 均 (mm)	971	530	1, 501	
	基 準 年 (mm)	－	－	－	
降 水 日 数	平 均 (日)	61	43	104	
	基 準 年 (日)	－	－	－	
根 雪 期 間				－ 日間	
無 霜 期 間				－ 日間	
最 多 風 向		北西	最大風速	18. 0 m/s	最多風向発生時期 9月～5月 最大風速発生年月日 平成30 年 9 月 4 日

2. 特殊気象

(第 3 表－2)

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
東海観測所、大府観測所																
観 測 期 間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
昭和51年～令和5年																
最 大 日 雨 量 (mm)	492	平成12年9月11日	1/693	243	昭和51年9月12日	1/27	234	平成3年9月19日	1/23	194	平成6年9月17日	1/12	181	令和4年7月12日	1/9	
最 大 時 間 雨 量 (mm)	114	平成12年9月11日	1/213	83. 5	平成21年10月8日	1/42	69	平成6年9月17日	1/18	68	昭和62年9月25日	1/17	59	平成2年9月18日	1/10	
最 大 4 時 間 雨 量 (mm)	269	平成12年9月11日 17:00～	1/849	159	平成3年9月19日 3:00～	1/40	149	平成6年9月17日 17:00～	1/29	117	平成2年9月18日 1:00～	1/10	109	昭和51年9月12日 4:00～	1/8	
最 大 連 続 雨 量 (mm)	589	平成12年9月11日 ～9月12日	1/184	465	昭和51年9月7日 ～9月14日	1/51	437	平成2年9月13日 ～9月20日	1/38	347. 5	昭和51年12月30日 ～1月25日	1/14	328	昭和57年7月24日 ～8月3日	1/11	
最大連続干天日数 (日)	40	昭和61年1月5日 ～2月13日	1/215	31	平成11年12月7日 ～平成12年1月6日	1/25	29	平成9年10月15日 ～11月12日	1/16	27	平成7年11月28日 ～12月24日	1/10	27	昭和58年11月25日 ～12月21日	1/10	5位と同じ連続干天日数 令和2年7月31日～8月26日 昭和51年12月30日～昭和52年1月23日

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(令和 6 年 8 月現在) (第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高 (m)		備考
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3°以下	3° ～ 8°	8° ～ 10°	10° ～ 15°	計	15° ～ 20°	20°以上	計	最高	最低	
防災ダム事業	面積 (ha)	-	32.1	-	-	-	32.1	1.1	-	-	-	-	-	-	1.1	22.40	9.90	
	比率 (%)	-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0			
合計	面積 (ha)	-	32.1	-	-	-	32.1	1.1	-	-	-	-	-	-	1.1	22.40	9.90	
	比率 (%)	-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0			

(第4表-1-2)

土壌統 (区) 名	項目	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表									面積(ha)			備 考	
		土壌断面							堆積様式	母材	事業名				
		色	腐 植	礫 層	酸化沈殿物	土性					泥炭層 黒泥層 及び グライ層	防災 ダム 事業			計
						表土	下層土								
						一層	二層	三層							
大 治		Y(灰)	なし	なし	糸根、斑、 管状有～富	粘質	粘～ 強粘質	一	80cm以上 にはなし	水積	非固結 水成岩	3.0		3.0	水田 区分
志 籠 谷		Y(灰)	なし	なし	糸根、斑、 管状有～富	粘質	粘～ 強粘質	一	50cm以内に グライ層あり	水積	非固結 水成岩	30.2		30.2	水田 区分
計												33.2		33.2	

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(令和 6 年 8 月現在) (第4表-3)

事業名	市町村名	土地利用別	耕 地					原 野	山 林	採草放牧地	その他	計	備 考
			水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地の (ha)					
防災ダム事業	豊明市		32.1	1.1	-	-	-	-	-	-	-	33.2	
	計		32.1	1.1	-	-	-	-	-	-	-	33.2	
	計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合 計			32.1	1.1	-	-	-	-	-	-	-	33.2	

第3節 水利状況

1. 用水状況

大原池は、愛知用水幹線水路から取水しているため池であり、パイプラインによる自然流下方式で受益地をかんがいしている。

(1) 用水系統



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		許可水利権		慣行水利権		延べ取水量		備考
		500ha以上		100～500ha		100ha未満										
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/S	箇所	m³/S	箇所	m³/S		
防災ダム事業	貯水池	－	－	－	－	1	33.2	1	33.2	－	－	－	－	1	0.18	
	井 堰	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	自然取入口	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	揚水機	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	計	－	－	－	－	1	33.2	1	33.2	－	－	－	－	1	0.18	
合計		－	－	－	－	1	33.2	1	33.2	－	－	－	－	1	0.18	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施設名							
防災 ダム 事業	貯水池	大原池	33.2	洪水吐工	鉄筋コンクリート 正面越流型	昭和46年	豪雨時の排水能力不足	
	井 堰	-	-	-	-	-	-	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	-	-	-	-	-	-	
	用水路	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	
	計	-	33.2	-	-	-	-	
合計		-	33.2	-	-	-	-	

(3) 用水に関する被害状況 該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(千円)							備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施設	農漁家 (建物)	公共 施設	家屋 その他	計	
防災ダム事業	32.1	1.4	14.3	47.8	21,568	47,331	61,884	12,358	-	3,758,280	3,901,421	
計	32.1	1.4	14.3	47.8	21,568	47,331	61,884	12,358		3,758,280	3,901,421	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	32.1	1.4	14.3	47.8	21,568	47,331	61,884	12,358		3,758,280	3,901,421	

2. 排水状況 該当なし
3. 河川状況 該当なし

第4節 道路概況

本地区周辺の道路網は主要地方道瀬戸大府東海線が南北に通過し、交通アクセスには恵まれている。

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	運 輸 郵便業 (人)	卸売業 小売業 (人)	金 融 保険業 (人)	不 動 産 業 (人)	サービス 業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備 考
豊明市	36,672	382	-	1	1	2,361	11,660	123	1,988	5,011	518	546	6,201	781	7,099	令和2年
																国勢調査
計	36,672	382	-	1	1	2,361	11,660	123	1,988	5,011	518	546	6,201	781	7,099	
比率 (%)	100	1.1	-	0.0	0.0	6.4	31.8	0.3	5.4	13.7	1.4	1.5	16.9	2.1	19.5	

2. 経営耕地広狭別農業経営体数

(第7表-2)

区分 市町村名	農 業 経 営 体 数 (経営体)	経営耕地広狭別農業経営体数 (経営体)										1経営体当たり平均農用地面積 (ha)						備 考
		0.3ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	
豊明市	240	8	80	103	34	8	4	1	1	-	1	0.9	0.4	0.3	1.6	-	1.6	
計	240	8	80	103	34	8	4	1	1	-	1	0.9	0.4	0.3	1.6	-	1.6	
比率 (%)	100	3.3	33.3	43.0	14.2	3.3	1.7	0.4	0.4	-	0.4	56.0	26.0	18.0	100.0	-	100.0	

(出典：2020年農林業センサス)

3. 主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	項 目	主 要 家 畜							備 考	
		乳 用 牛		肉 用 牛		豚		家きん		
		数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)		経営体数 (経営体)
豊明市	X	2	-	-	-	-	X	2		
計	X	2	-	-	-	-	X	2		
100経営体 当り 数 量 (頭、100羽)	X		-		-		X			
飼養経営体数 割合 (%)	-		-		-		-			

X:秘密保護上統計数値が公表されていないもの -:事実のないもの (出典:2020年農林業センサス)

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名	豊明市	-	-	計	作付割合 (%)	備 考
総耕地面積 (ha) ※	479	-	-	479		
区 分	作付面積 (ha)	-	-	作付面積 (ha)		
作物名						※センサスに情報がないため、農林 水産統計年報を採用
水 稻	X	-	-	X	X	
麦 類	20	-	-	20	9.1	
雑 穀	X	-	-	X	X	
い も 類	1	-	-	1	0.4	
豆 類	16	-	-	16	7.0	
工 芸 作 物	X	-	-	X	X	
野 菜 類	X	-	-	X	X	
果 樹 類	14	-	-	14	6.2	
花 き 類 ・ 花 木	5	-	-	5	2.4	
そ の 他 の 作 物	X	-	-	X	X	
計	224	-	-	224	(100)	

X:秘密保護上統計数値が公表されていないもの -:事実のないもの (出典:2020年農林業センサス)

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家 ※ 1			土 地			主 要 作 物			主 要 家 畜						地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作 物 名	B	A	家 畜 名	B	A					
変化の状況 (C年を100とする指数)	農業経営体数	83	63	耕 地	97	88	水 稻	60	83	乳用牛	X	X				農振整備計画 昭和46年9月6日	A：令和 2 年 (2020年) B：平成 27 年 (2015年) C：平成 22 年 (2010年) X：秘密保護上統計数値が公表されていないもの。 －：事実のないもの。
	個人経営体数	83	62	田	97	87	麦類	X	X	肉用牛	－	－					
	団体経営体 (法人) 数	100	83	畑	97	90	果樹	82	82	豚	－	－					
	団体経営体 (非法人) 数	－	50							家さん	X	X					
変化の理由	農業従事者の減少、高齢化により経営体は減少傾向にある。			農業従事者の減少、農地の転用などにより耕地、田、畑ともに減少傾向にある。			耕作面積の減少、水稻の生産調整等の施策により、営農形態が変化している。			統計数値が公表されていないため、動向の把握が困難である。							

(出典：2020年、2015年、2010年世界農林業センサス)

第6節 地域環境の概況

豊明市は、名古屋市の東に隣接し、尾張地方と西三河地方を分ける境川沿いに位置しており、名古屋市のほか、刈谷市、大府市及び愛知郡東郷町の三市一町と接している。

気候は太平洋型気候(表日本型)に属し、年平均気温は16℃前後で比較的温暖といえるが、夏と冬の温度差が大きい。年間の降雨量は過去の平均で1,500mm前後である。

市内には勅使池、若王子池を始めとしたため池が39余りあり、そのうち農業用ため池は大小24ヶ所程度で、これらの多くはかんがいの目的で人工的に築かれたものである。

また、丘陵地と段丘地帯が接する付近を中心に、かつていたるところで湧水があった。しかし、著しく開発が進み、湧水の場所は減少の一途をたどっていて、現在では沓掛町の大狭間や同町若王子池周辺などに局地的にみられるのみとなっている。湧水地帯の近くには、ハッチョウトンボなどの湿地帯を好む昆虫類や水生昆虫、ナガバノイシモチソウなどの動植物が生育・生息し、良好な自然環境の指標となっている。

このように、本市は北東部から南西部にかけての丘陵地やため池、湧水地などが残されており、名古屋市といった大都市に隣接する市町村としては、豊かな自然が残されている。

一方で、上記のような湧水地の減少のほか、区画整理事業による宅地開発などにより農地の減少が目立つようになった。このため、平成18年度においては兼業農家が全体の95%以上を占め、ほとんどの農家が農業外収入に依存しており、後継者問題、担い手農家の減少など、農業振興については困難な問題が生じている。

「田園環境整備マスタープラン（豊明市）」より引用

第 4 章 一 般 計 画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

大原池は豊明市に位置する受益農地33.2haにかんがい用水を供給する農業用ため池として地域農業の重要な役割を果たしているが、平成30年度に豪雨耐性評価を行った結果、豪雨時における洪水吐の排水能力不足が確認された。

このため、洪水吐の改修を行い、ため池の決壊による被害を未然に防止し、農業経営と民生の安定を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

事業目的	事業名	防 災 ダ ム 事 業												計 (ha)	備 考
	土地 利用区分	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)		
豪雨対策		32.1	1.1	-	-	-	33.2	-	-	-	-	-	-	33.2	
計		32.1	1.1	-	-	-	33.2	-	-	-	-	-	-	33.2	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画 該当なし

第 3 節 用水計画 該当なし

第 4 節 排水計画 該当なし

第 5 節 道路計画 該当なし

第 6 節 農用地造成計画 該当なし

第 7 節 洪水調整計画 該当なし

第 8 節 干拓計画 該当なし

第 9 節 農用地整備計画 該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐工改修計画

RC構造による全面改修を行う。

2. 堤体補強計画

該当なし

3. 取水施設改修計画

該当なし

第 5 章 主要工事計画

第 1 節	用水施設	該当なし
第 2 節	排水施設	該当なし
第 3 節	道路及び索道	該当なし
第 4 節	農用地造成	該当なし
第 5 節	洪水調整施設	該当なし
第 6 節	干拓施設	該当なし
第 7 節	農用地整備施設	該当なし
第 8 節	老朽ため池改修施設	

1. 貯水池

(第 2 4 表)

名称	大原池					位置	愛知県豊明市			
堤体		型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積(千m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量(千m ³)	備考	
	現況	均一式	0.323	5.9	167	16.9	5.0	46	地震対策工（堤体補強）済	
	計画								-	
洪水吐		型式	洪水量(m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	斜樋	型式	取水量(m ³ /s)	備考
	現況	越流型	7.0	B=4.7	-		現況	φ 200×3	0.180	既存利用
	計画	越流型	7.3	B=6.0	今回改修		計画	-		-
緊急放流施設工	型式		緊急放流量 (m3/s)		備考		底樋	型式	放流量(m ³ /s)	備考
	φ 350×1連		0.373		対策済		現況	コンクリート巻立 ビューム管 φ 600	0.373	既存利用
							計画	-		-

2. 堤体補強施設

(1) 地震対策工

該当なし

(2) 取水施設改修工事

該当なし

(3) 漏水防止工

該当なし

第 6 章 附帯工事計画 該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工 期

着 手

令和 7 年度

完了予定

令和 9 年度 (予定)

2. 工事の年度割合予定

年 度 工 種	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
測量・実施設計				
洪水吐工				

第 8 章 環境との調和への配慮

(1) 配慮の対象

【景観】

大原池は、尾張地方と西三河地方を分ける境川沿いに位置する農業用ため池であり、田園環境整備マスタープランにおいて「環境配慮区域」に位置付けられている。大原池の植生は、岸際にはヨシ、ツルヨシ、ヒメガマ、コガマを始めとした抽水植物が繁茂して群落を形成し、水面は浮葉植物のヒシで覆われており、魚類を始めとした水生動物や幼虫期に水中生活を送るトンボ類などの昆虫類に、良好な生息環境を提供している。

【保全対象生物】

現地調査において、環境省及び愛知県レッドデータブック選定種として1種(ドブガイ)が確認されているため、保全対象生物とする。

(2) 配慮の方法

- ・工事区域内にドブガイが入り込んだ場合は、捕獲し、池周辺の湿地部に一時的に移動させる。
- ・落水時、汚濁防止ネットを設置し、濁水、土砂の流出を防止する。

第 9 章 換地計画の概要

該当なし

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区 分 \ 事業名		防 災 ダ ム 事 業 (千円)	備 考
事 業 費 (※1)		117,000	
事務的経費 (※2)		7,200	
計		124,200	
関(連 参 考 事 業)	-	-	
	-	-	
	計	-	

(令和6年度単価〔消費税は10%で算出〕：但し、物価変動により将来変動することがある。)

※1 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第 11 章 効 用

(第27表)

事業名	区 分	年 総 効 果 (便 益) 額 (千円)	年 総 増 加 農 業 所 得 額 (千円)	備 考
	効 果 項 目			
防 災 ダ ム 事 業	維持管理費節減効果	△ 60	-	
	災害防止効果 (農業関係資産)	6, 227	6, 227	
	災害防止効果 (一般資産)	163, 485	-	
	災害防止効果 (公共資産)	-	-	
	計	169, 652	6, 227	令和6年度単価

(参考)

① 当該事業費	:	104, 014 千円
② その他費用	:	147, 407 千円
③ 総事業費	:	251, 421 千円
④ 年償還額	:	- 千円/年
④' うち、機能向上分	:	- 千円/年
⑤ 年総効果(便益)額	:	169, 652 千円/年
⑥ 現況年総農業所得額	:	22, 453 千円/年
⑦ 年総増加農業所得額	:	6, 227 千円/年
評価期間	:	43 年
割引率	:	0. 04
⑧ 総便益額	:	2, 984, 975 千円
⑨ 総費用総便益比(⑧÷③)	:	11. 87 ≥1. 00
⑩ 総所得償還率 (④÷⑥)	:	-% ≤0. 2
⑪ 増加所得償還率(④' ÷⑦)	:	-% ≤0. 4

第 12 章 関連する事業 該当なし

第 13 章 現況・計画平図面

- | | | |
|-------------------|---|---|
| 1. 位置図 | 別 | 添 |
| 2. 計画平面図及び土地利用計画図 | 別 | 添 |
| 3. 主要構造図 | 別 | 添 |

令和7年度 新規採択希望
農村地域防災減災事業
防災重点農業用ため池緊急整備事業
ため池総合整備工事【地震・豪雨対策型】（大規模）

大原池2期地区

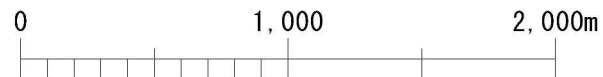
所在地：愛知県豊明市栄町地内

位置図

縮尺 S=1/10000 (A1)
S=1/20000 (A3)



1 : 10,000 (A1)



凡 例

	市 町 村 界
	事 業 計 画 区 域

令和7年度 新規採択希望
農村地域防災減災事業
防災重点農業用ため池緊急整備事業
ため池総合整備工事【地震・豪雨対策型】（大規模）

大原池 2 期 地区

所在地：愛知県豊明市栄町地内

計画概要図

縮尺 S=1/ 5000 (A1)
S=1/10000 (A3)

愛知県内位置図



凡 例		
	直接被害区域	17.6 ha
	かんがい受益(水田)	32.1 ha
	かんがい受益(畑)	1.1 ha
	直接被害農地(水田)	2.8 ha
	直接被害農地(畑)	0.5 ha
	間接被害農地	30.2 ha
	集水区域	32.3 ha

凡 例	
	市町村区域界



工事名	
図面名	計画概要図
作成年月日	令和7年3月
縮尺	S=1:5000 図面番号 1 / 1
会社名	
事業所名	愛知県尾張尾張林水産事務所

計画平面図

A1 : S=1/250
A3 : S=1/500

大 原 池

取水施設工（既存利用）
緊急放流施設工（既存利用）
N=1式

洪水吐工改修
N=1式

市道栄200号

堤体工（既存利用）
N=1式

市道大脇大根線

市道大脇大根線

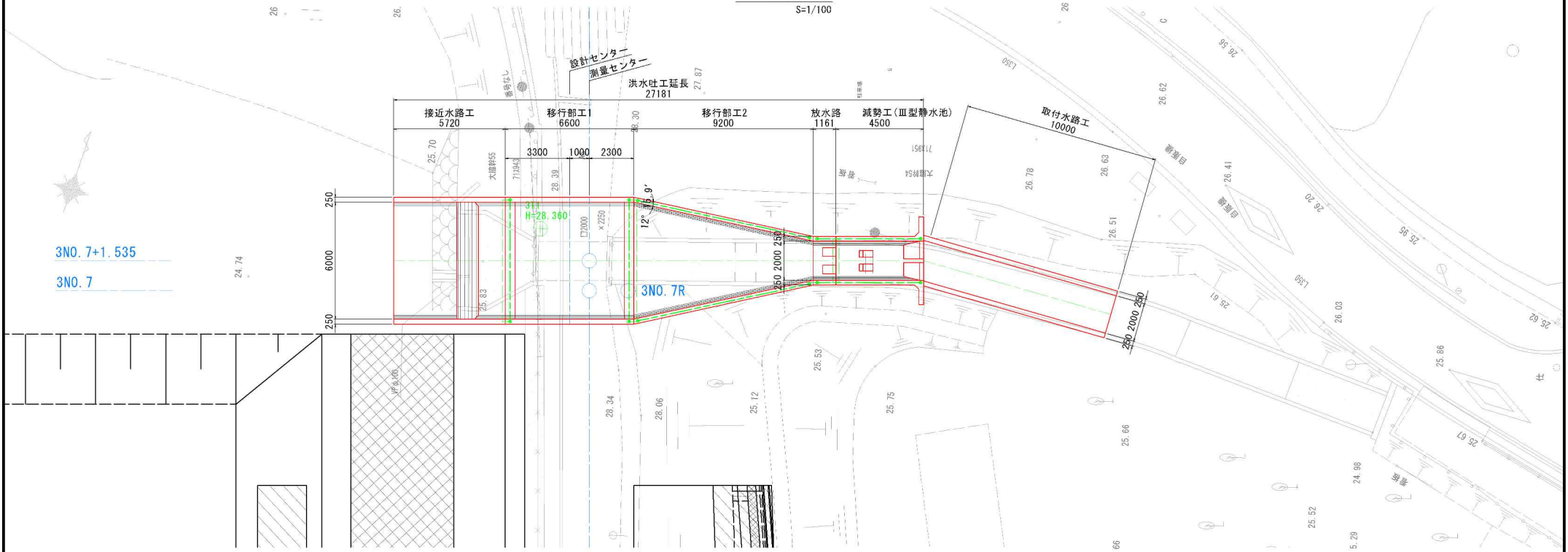
工事名	
図面名	計画平面図
作成年月日	令和 7年 3月
縮 尺	S=1/250 図面番号 1 / 1
会社名	
事業所名	愛知県尾張緑地農林水産事務所

洪水吐工一般図(1/3)

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200

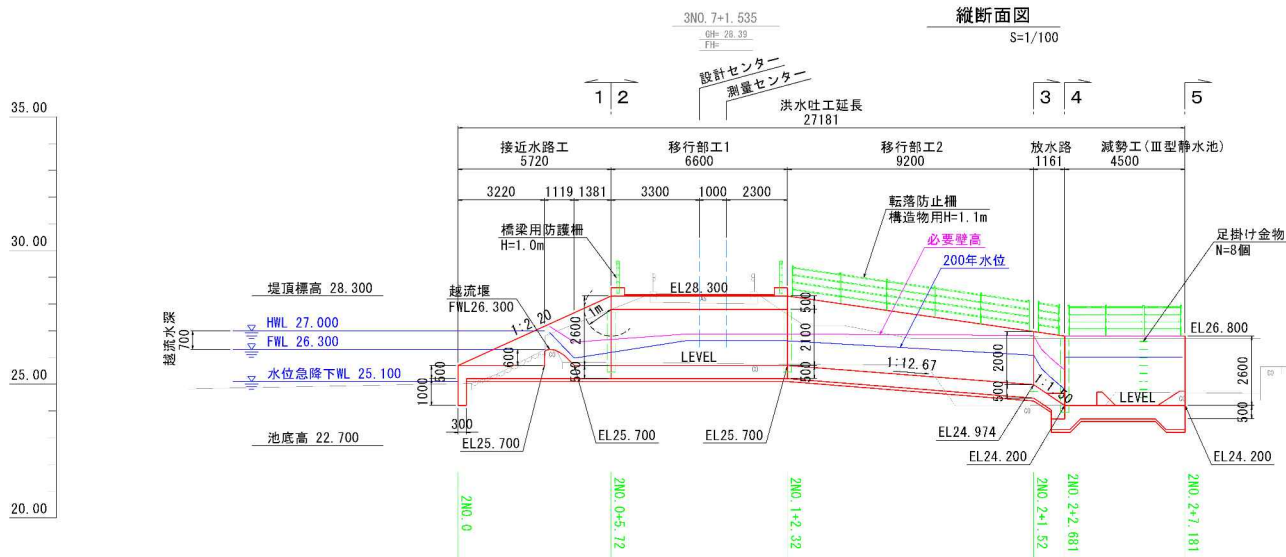
平面図

S=1/100



縦断面図

S=1/100



工事名	
図面名	洪水吐工一般図(1/3)
作成年月日	令和 7年 3月
縮尺	S=1:100 図面番号 1 / 1
会社名	
事業所名	愛知県尾張尾張林水産事務所